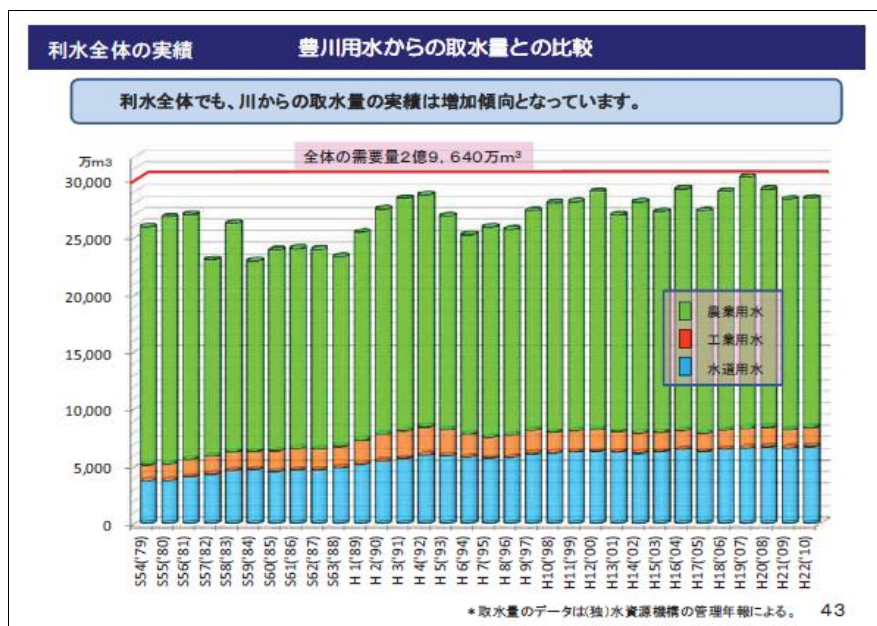


(2) 利水の実績

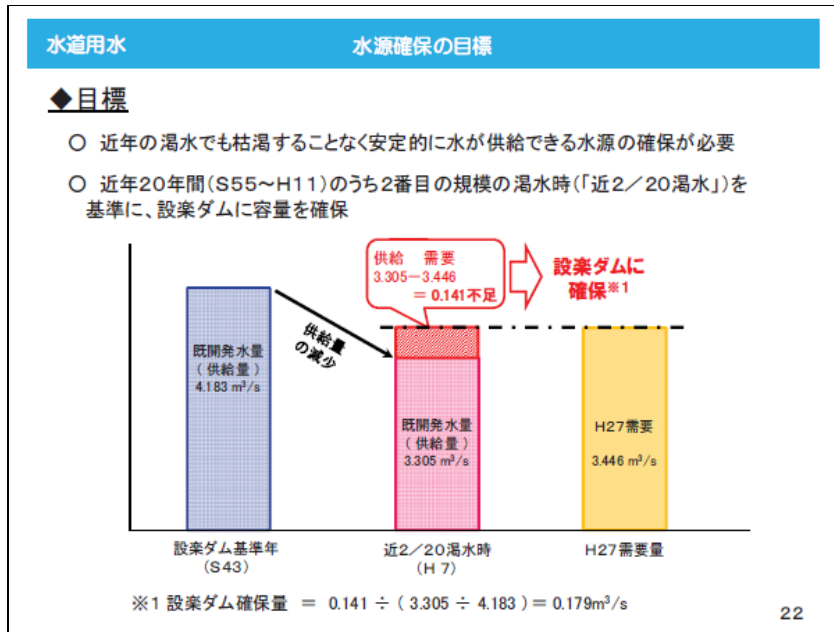
○利水全体の実績は次の通り。

※大島ダム等の豊川総合用水施設が本格供用された平成14年以降も、11年間で3年0~10%の節水対策を実施（平成18年度以降は節水対策は無し）しており、水は不足している。



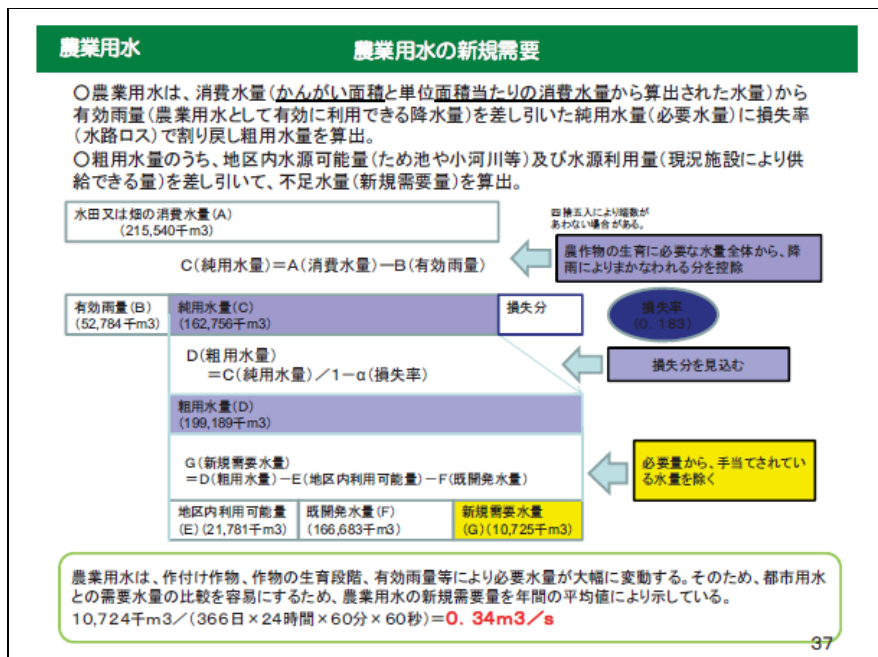
(3) 新規水需要の計算

- 1) 工業用水の新規需要は無い。
- 2) 水道用水は、平成27年には、需要は**3,446 m³/s**、既開発水量は昭和43年で**4,138 m³/s**であったものが平成7年（昭和55年から平成11年までの20年間の2番目の渇水年）には**3,305 m³/s**となっており、差し引き**0.141 m³/s**が不足する。設楽ダムでの確保量は、 $0.141 \div (3,305 \div 4,138) = 0.179 \text{ m}^3/\text{s}$ となる。



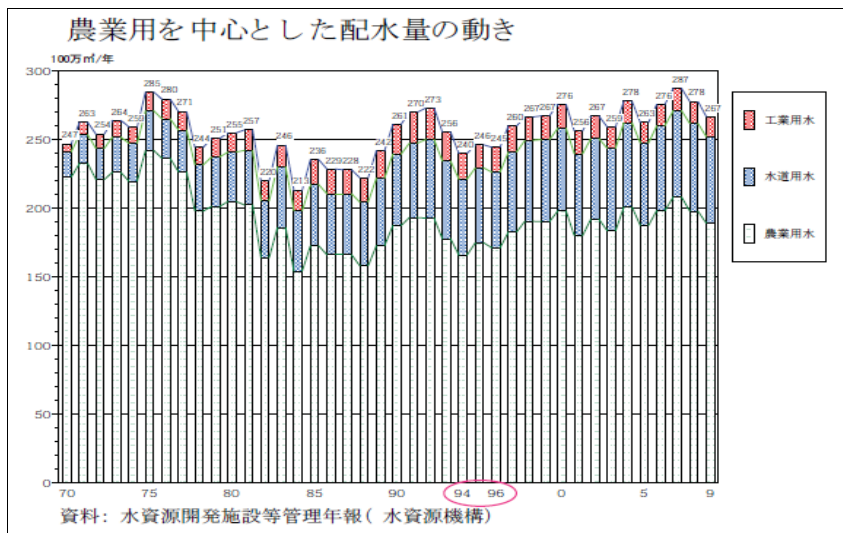
3) 農業用水は、

- ①水田面積の微増(平成9年=1997年6,590haから平成16年=2004年6,597haに増加)、畑作作付面積の微増、
- ②ため池の減少、水質の悪化から、
農業用水の新規需要量の年間平均値は、 $10,724,000 \text{ m}^3 / (366 \text{ 日} \times 24 \text{ 時間} \times 60 \text{ 分} \times 60 \text{ 秒}) = 0.34 \text{ m}^3/\text{s}$ を確保する必要がある。



《富樫幸一氏講演「豊川水系における利水の現状とフルプランの検討」》
 岐阜大学地域科学部教授

(1) 水需要の実績。愛知県と東海農政局と同じデータ。示し方が違うだけ。



(2) 2015年目標と実績との乖離、過大な目標設定

1) 水道用水

○水道用水については、豊川フルプランの目標は2015年であるが、2003年から2011年までの実績を見ると、2015年目標は過大である。

【注】一日最大総水量は、287.8 千m³/s (2003年) → 276.0 千m³/s (2011年) → 339.0 千m³/s (2015年目標)。2015年目標では2003年よりも51.2 千m³/s 増加する計画だったが、目標に達するには2011年～4年間で63.0 千m³/s 増加しなければならない。

	2003	2011	2015	2003/15 予測	2011実績 /15の差	
給水人口(人)	730	759	738	8	21	予測以上に人口は増えている
一日最大給水量(千m³/日)	287.8	276.0	339.0	51.2	-63.0	増加予測・実績は減少
一日平均給水量(千m³/日)	246.0	240.1	268.1	22.1	-28.0	増加予測・実績は減少
一人一日最大給水量(ℓ/人・日)	394	387	459.3	65.3	-72.3	大きな増加予測・実績は減少
一人一日平均給水量(ℓ/人・日)	337	322	363.1	25.9	-41.1	増加予測・実績は減少
負荷率(%、日平均/日最大の比)	85.5	87.0	79.1	-6.4	7.9	低すぎた設定値：日最大が低下・負荷率は上昇
利用率(%、給水/取水の比)	98.8	99.7	92.3	-6.5	7.4	低すぎた設定値：利用率は高いまま

資料：豊川水系フルプラン（2006），愛知県の水道